

令和 8 年度九州沖縄農業試験研究推進会議 生産環境部会
土壌肥料研究会 開催要領

九州沖縄農業試験研究推進会議 生産環境部会長
農研機構 九州沖縄農業研究センター 暖地畑作研究領域
原 嘉隆

1. 趣 旨

近年、地震や豪雨等の自然災害の頻発・激甚化により、農地基盤の脆弱性が顕在化し、その維持・保全と被災後の復旧・復興に資する技術の確立が重要な課題となっている。九州沖縄地域も例外ではなく、熊本県では平成 28 年熊本地震により農地の亀裂や沈下、土砂の流入、排水不良、用水路の損壊等、農地基盤に大きな被害が生じた。また、令和 8 年 7 月 28 日に熊本県で発生した地震においても被害が報告されており、自然災害に対する農地基盤の強靱化と迅速な復旧技術の重要性が改めて認識されている。一方、平成 28 年熊本地震からの復旧・復興の過程では、農地基盤の修復、土壌管理、営農再開等に関する研究および技術的知見が蓄積されてきた。これらの知見の共有は、将来の自然災害への備えと被災後の復旧・復興対策の強化に資すると考えられる。

そこで本研究会では、「熊本地震の経験を踏まえた農地基盤の復旧と強化に関する技術と課題」をテーマとして、平成 28 年熊本地震に関する研究成果や現場の取組を共有するとともに、近年の自然災害を踏まえた農地基盤強靱化と九州沖縄地域における今後の課題と展望について議論する。

2. 開催日時

令和 8 年 10 月 27 日（火）13:20 ～ 28 日（水）13:45

3. 開催場所（対面）

1 日目 室内検討会

くまもと森都心プラザ（〒860-0047 熊本県熊本市西区春日 1-14-1）

電話：096-355-7400、https://stsplaza.net/comp_access/

2 日目 現地検討会

熊本市近郊の震災現場（貸切バスでの移動）

4. 議事内容

1) 室内検討会 10 月 27 日（火）13:20 ～ 16:40

（1）挨拶、開催趣旨説明

（2）物理探査による地中状態の可視化と透水性評価ー熊本地震の事例からー（仮）

農研機構農村工学研究部門 施設工学研究領域 地盤防災グループ長 井上 敬資

（3）平成 28 年熊本地震による農地土壌および地下水変化の実態と革新支援専門員としての活動

熊本県農業研究センター 生産環境研究所 所長 松森 信

（4）令和 8 年熊本地震による農地被害状況および営農再開支援活動（仮）

熊本県農業技術課 農業革新支援専門員（土壌肥料） 白尾 謙典

（5）上益城地域における熊本地震からの復興にかかる普及活動の紹介

熊本県県央広域本部上益城地域振興局 農業普及・振興課 主任技師 田中 一成

（6）総合議論

（7）閉会挨拶

2) 現地検討会 10 月 28 日（水）10:30 ～ 13:45

集合：JR 熊本駅西口 10:30（貸切バスで移動）

現地：JA かみましき嘉島カントリー（嘉島町）11:10 ～ 11:50

布田川断層堂園地区（益城町）12:40 ～ 12:50
解散：JR 熊本駅西口 13:45

5. 参集範囲

九州農政局、内閣府沖縄総合事務局、九州沖縄各県の試験研究機関及び行政普及部局、農研機構九州沖縄農業研究センター、その他部会長が認める者

6. 申込先

熊本県農業研究センター 生産環境研究所 土壌環境研究室 柿内 俊輔
〒861-1113 熊本県合志市栄 3801

電話：096-248-6447、FAX：096-248-6493、E-mail：kakiuchi-s@pref.kumamoto.lg.jp

申込期限：10月9日（金）（添付の申込みファイルにご記入の上、お送りください）

7. 研究会全般に関する問い合わせ先

農研機構 九州沖縄農業研究センター 暖地畑作研究領域 小林 創平
〒861-1192 熊本県合志市須屋 2421

電話：096-242-7763、E-mail：kobayashi.sohei368@naro.go.jp